※令和４年度以降入学生用

学校番号	211

令和８年度　地歴公民科

教科	地歴	科目	歴史総合演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『歴史総合　近代から現代へ』（山川出版社）						
副教材等	『歴史総合ノート』近代から現代へ（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合演習では、第２次大戦以降（現代史）の歴史について、日本史、世界史の垣根を越えて分析・考察を行います。１つ１つの歴史的事象に対して、「原因」や「結果」を多面的・多角的に考えていきましょう。

２　学習の到達目標

現代史において、日本史と世界史を相互に関連させながら、基礎的な概念および知識を獲得し(知識及び技能)、演習を通じて、史資料や統計から歴史的事象どうしの関連や背景を分析・考察してそれを様々な形で表現することができることを目指す(思考力、判断力、表現力等)。また、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	五　第一次世界大戦と大衆社会　1.第一次世界大戦とロシア革命	①バルカン半島の複雑な状況を理解し、その影響と第一次世界大戦の開戦について多面的･多角的に考察する。 ②総力戦による社会の変化を理解する。 ③日本の参戦以後、日中両国間でどのような動きがあったのかを考察する。 ④戦時外交とアメリカ合衆国の参戦による戦争の経過、および大戦による国際社会の変化を理解する。 ⑤ロシア革命の経緯とその思想を理解し、革命とソ連の成立が国際社会に与えた影響について考察する。 ⑥ロシアの内戦と、日本のシベリア出兵の意図を理解する。	a:　・第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。 ・二十一カ条の要求に対する日中両国の動きを理解している。 ・ロシア革命に対する内戦の構造と、日本がシベリア出兵をおこなったねらいを理解している。 b:・バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的･多角的に考察している。 ・戦時外交とアメリカの参戦が戦争の展開にあたえた影響を考察している。 c:　・ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義を追究しようとしている。 ・資料を活用し、シベリア出兵の進路からその意図を見出そうとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパー レポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

1	3.アジア・アフリカ地域の民族運動	①第一次世界大戦後に民族運動が活発になった要因を理解し、その影響について考察する。 ②東アジアにおける民族運動を整理し、中国における国民党と共産党がはたした役割について考察する。 ③インドと東南アジアにおける民族運動を整理し、各地域における指導者の活躍を理解する。 ④アフリカと西アジアにおける民族運動を整理し、各民族による独立や国家建設の動きを理解する。	a: ・ガンディーに象徴されるインドの民族運動を理解している。 ・東南アジア各地域における民族運動とその指導者について理解している。 ・西アジアにおける民族と宗教の分布図から独立や国家建設の動きを読み取っている。 〃 b:〃・第一次世界大戦後に植民地で民族運動が活発になったことによる影響について考察している。 ・中国における民族運動の展開と、国民党と共産党の活動について考察している。〃 c:〃・各地での民族運動の展開を比較しながら、その共通点と相違点について追究しようとしている。 ・第一次世界大戦後の西アジアにおける民族運動の展開が、今日の中東情勢に大きく関係していることを見出そうとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

1	六　経済危機と第２次世界大戦　1.世界恐慌の発生と各国の対応	①恐慌が世界に波及した要因を追究し、その後の世界にあたえた影響を理解する。 ②各国が金本位制を離脱したことの意味を理解し、ブロック経済形成の目的と影響について考察する。 ③ニューディール政策の内容とその結果を理解し、アメリカの外交政策の変化を年表にまとめ、考察する。 ④ソ連の国際社会復帰と社会主義建設に転換した経緯を理解し、世界におよぼした影響を考察する。	a:・世界恐慌の発生の原因・過程・結果について理解している。 ・世界恐慌中の各国の鉱工業生産指数のグラフを読み、国ごとの回復状況を比較し、理解している。 ・アメリカのニューディール政策と外交政策の変化を年表にまとめている。〃 b:・世界恐慌に対して、各国の対応策を比較し、表現している。 ・ソ連の計画経済にもとづく社会主義の政策が世界恐慌にどのように対応することができたかを考察し、表現している。 c:　・世界恐慌は、国際秩序にどのような変化をもたらしたか、資本主義国・社会主義国の視点から多面的・多角的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題
1	六　経済危機と第二次世界大戦　2.ファシズムの台頭	①ファシズム体制の特徴をまとめ、国内外への影響を理解する。 ②ヒトラーとナチ党がドイツで政権を獲得し、独裁体制を確立した経緯とその結果について考察する。 ③1930 年代のヨーロッパにおけるファシズムと反ファシズムの共通点と相違点を考察する。 ④ドイツの拡張主義的な対外政策と他国の反応から、第二次世界大戦発生の原因を理解する。	a:　・ドイツを中心としたファシズムはどのようにして台頭してきたか年表にまとめている。 ・ドイツの台頭によって、イタリアがどのような政策を展開していくか理解している。〃 b:〃・フランス・スペインで成立した人民戦線政府を比較し、その後の動きを表現している。 ・ソ連の体制はファシズム体制はどのような点で類似していたかを考察し、表現している。〃 c:〃・ドイツの拡張政策に対して、ヨーロッパ諸国はどのように対応していったのかを追究しようとしている。 ・ドイツとソ連が独ソ不可侵条約を締結するにいたる過程を追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

1	六経済危機と第二次世界大戦　3.日本の恐慌と満洲事変	″①金融恐慌のおこった背景を考察し、その特徴について理解する。 ②協調外交をすすめた背景を理解し、その後の政治の推移を考察する。 ③満洲事変がおこった背景を理解し、その後の政治の推移を年表にまとめ考察する。 ④五･一五事件がおこった背景や理由をふまえ、その後の軍人の行動が、政治にどう影響したかを考察する。 ⑤恐慌からどのようにして回復していったか、その対処法を考察する。	a:″・金融恐慌がおこった原因・過程・結果について理解している。 ・銀行数と５大銀行の占有率の変化のグラフをみて、金融恐慌の結果、市場はどのような状態になったか理解している。 b: ・中国における北伐に対し、田中内閣はどのような対応をしていくことになったのかを考察している。 ・金解禁の実施、世界恐慌の影響、昭和恐慌への対応を年表にまとめて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:″・満洲事変の原因・過程・結果を考察し、その後の日本の満洲での政策を追究しようとしている。 ・五・一五事件の背景・結果を考察し、その後、日本は国際社会でどのような立場になるかを追究しようとしている。	･定期考査 ･小テスト	･定期考査 ･小テスト ･リアクションペーパーレポート) ･パフォーマンス課題	･リアクションペーパー ･パフォーマンス課題
1	六経済危機と第二次世界大戦　4.日中戦争と国内外の動き	″①二･二六事件がおこった背景を考察し、その後の政治や軍部の動きの推移について理解する。 ②日中戦争がおこった背景を理解し、その後の国際社会に与えた影響を考察する。 ③日本が中国に侵攻して、軍がどのような行動をとっていたか理解し、中国の人々はどのような影響を受けたかについて考察する。 ④三国同盟がどのようにして締結されたか理解する。また、国民生活にどのような変化･影響があったのか、新体制運動の下での背景と関連づけながら考察する。	a:″・二・二六事件のおこった背景・過程について考察したうえで、その後の政府・軍部の動向を理解している。 ・日中戦争のおこった背景・過程について理解している。″ b:″・二・二六事件、日中戦争、三国同盟にいたる時期を年表にまとめて、その動向を表現している。 ・この時期の、日本の国民生活の変化について考察している。″ c: ・日中戦争の長期化は、日中両国の人びとや国際社会にどのような影響をもたらしたのか、多面的･多角的に追究しようとしている。 ・三国同盟の締結が、イギリス・アメリカに対して与えた影響について追究しようとしている。	･定期考査 ･小テスト	･定期考査 ･小テスト ･リアクションペーパーレポート) ･パフォーマンス課題	･リアクションペーパー ･パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

1	六経済危機と第二次世界大戦　5.第二次世界大戦と太平洋戦争	①第二次世界大戦がおこった背景を理解し、その後の政治の推移を考察する。 ②日本とアメリカの対立は、どのような背景から生じたか、日米関係を基軸として考察する。 ③ドイツ・イタリアはヨーロッパでどのような動きをしていたか、その背景や理由を考察する。 ④日本国内における戦時下での国民の生活や、中国・朝鮮から動員された人々の生活について考察する。 ⑤第二次世界大戦は、戦後の世界にどのような影響を与えたか考察する。	a:・第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。 ・国内の人びとの生活や、中国・朝鮮から動員された人びとの生活がどうであったか理解している。 b:〃・日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基軸にして、多角的に表現している。 ・日米の主要物資の生産高を比較して、日米の差がどのくらいあったのかを考察し、表現している。 c:・第二次世界大戦の終結にいたる連合国側の会議について時系列にその内容を追究しようとしている。 ・第二次世界大戦の結果、国際社会はどのように変化していくことになるかその嚆矢について追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

1	七戦後の国際秩序と日本の改革　1.新たな国際秩序と冷戦の始まり	″①第二次世界大戦後の国際社会が、どのようにして新たな国際秩序を構築したかを考察する。 ②アメリカとソ連の対立の背景を理解して、ヨーロッパ諸国が受けた影響を考察する。 ③ドイツの戦後の占領分割について、連合国側とソ連のそれぞれの方法を考察する。 ④冷戦について、資本主義陣営と社会主義陣営にわかれた経緯を理解し、米ソが二大国となったことを理解する。	a:″・第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していこうとしているか理解している。 ・「大西洋憲章」を読み、国際秩序をどのようにして構築していこうとしたか理解している。″ b:″・国際連合のしくみと内容について、政治的・経済的な面から理解して、新しい秩序にどう対応していくか考察している。 ・ドイツの分割統治について、アメリカ・イギリス・フランス側とソ連側を比較して考察している。 c:　・冷戦という新たな対立がおこった、背景・過程・結果を追究しようとしている。 ・米ソの巨大化にともない、ヨーロッパ諸国が弱体化していくことについてその理由を追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題
1	七戦後の国際秩序と日本の改革　2.アジア諸地域の独立	″①中華人民共和国の成立について、年表にまとめて理解する。 ②朝鮮戦争についての背景・過程を理解して、東アジア諸地域にあたえた影響を考察する。 ③東アジア・南アジアの独立について、各国別に理解し、考察する。 ④イランの民族運動の挫折について、国王と国際石油資本との関係深化による影響を考察する。 ⑤イスラエルの成立にともなう、パレスチナ地域の動向について考察する。″	a:　・中華人民共和国の成立の過程を年表にまとめて理解している。 ・朝鮮戦争の原因・過程を理解して、東アジアの諸地域や中華人民共和国・中華民国にあたえた影響を理解している。 b:″・東アジア諸国の独立の経緯を考察し、旧宗主国はどのような対応をとったのかを、各国別に表現している。 ・インド・パキスタン・セイロンの独立について、どのような問題がおきたのか考察している。″ c:　・第二次世界大戦後のイスラエル成立によりパレスチナ問題が深刻化したことについて考察し、どのようにして解決できるかを追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

1	七戦後の国際秩序と日本の改革　3.占領下の日本と民主化	①連合国による日本占領の方法や特徴について理解する。 ②連合国による日本の民主化政策について理解し、その特徴について考察する。 ③日本国憲法の制定過程を理解し、その特徴について考察する。 ④戦後復興が難航した背景を理解し、政府がどのような政策を講じたかを考察する。	a:　・連合国は、どのような面で日本の民主化を進めていったのか理解している。 ・戦後の日本の改革を年表にまとめている。 b:〃・日本国憲法の制定の過程を考察し、どのような手続きを経て公布、施行されたかを表現している。 ・日本国憲法を読み、大日本帝国憲法と比較して、どのような点が変わったのか、変わった理由について考察し、表現している。〃 c:〃・経済の民主化、労働運動の進展、農地改革を多面的・多角的に考察し、戦後処理のあり方を理解し、追究しようとしている。 ・日本の復興の実態とそれにともなう政策について追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパー レポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題
1	七戦後の国際秩序と日本の改革　4.占領政策の転換と日本の独立	〃①中道政権が成立した背景について理解し、それがなぜ継続的なものにならなかったのかを考察する。 ②連合国による日本の占領政策の転換について整理し、それが日本の政治・経済にどのような影響を与えていったかを考察する。 ③講和をめぐる国内の動き、サンフランシスコ講和会議の経過や平和条約の内容を理解し、日本がどのように国際社会に復帰したのかを考察する。 ④日米安全保障条約の内容を理解し、冷戦の状況下で日本がどのような目的をもってアメリカとの安保条約を締結したのかを考察する。 ⑤占領期の世相や文化について理解し、それらが国民にとってどのような意味をもったかについて考察する。	a:〃・日本の占領政策の転換について、その理由を考察し、どのように進めたかを理解している。 ・日本の独立回復のための、単独講和論と全面講和論のそれぞれの主張を理解し、国際社会へどのように復帰したか理解している。 b:〃・サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約の史料を読み、日本が認めた内容を考察している。 ・日本は約７年ぶりに独立を回復したが、どのようなかたちで国際社会に復帰したかを考察している。 c:　・日本の占領政策が、民主化優先から経済優先へと転換された理由・過程を、国際社会の動向をふまえて多面的・多角的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパー レポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

1	対立・協調／平等・格差／統合・分化	①対立・協調の観点から、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、国際秩序の変化や大衆化と私たちで表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。 ②平等・格差の観点から、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、国際秩序の変化や大衆化と私たちで表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。 ③統合・分化の観点から、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、国際秩序の変化や大衆化と私たちで表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。	a: ・対立・協調の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 ・平等・格差の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 ・統合・分化の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 b:〃・対立・協調の観点から、ムスリムとヒンドゥー教徒の関係性などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 ・平等・格差の観点から、オリンピックにおける女性の参加などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 ・統合・分化の観点から、近代以降に発生した移民や難民の背景などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 c:〃・対立・協調について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。 ・平等・格差について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながり	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

			や課題を見出そうとしている。 ・統合・分化について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

1	1冷戦と国際関係／2人と資本の移動／3高度情報通信／4食料と人口／5資源・エネルギーと地球環境／6感染症／7多様な人々の共存		a: ①冷戦下での国際関係と各国の取り組みに関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ②グローバル化のなかで、人口や資本の移動が各国や国際社会に与えた影響に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ③高度情報通信の構築に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ④世界の食料と人口の問題に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑤グローバル化における資源・エネルギーと地球環境をめぐる問題に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑥グローバル化と感染症の問題に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑦アメリカ合衆国と多様な人々の共存のあり方に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 b: ″・諸資料から、第二次世界大戦後の国際関係の変化を同盟体制や核開発の展開について考察している。 ・諸資料から、移民の動きや企業の海外進出の背景について考察している。 ・諸資料から、情報通信技術の発達と普及について考察している。 ・諸資料から、世界の人口の伸びと食料生産の問題について考察している。 ・諸資料から、資源・エネルギー源の拡大と地球環境の保全のあり方について考察している。 ・諸資料から、グローバル化と感染症の関係について考察している。 ・諸資料から、多様な人々の共生	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

			と衝突について考察している。〞 c: ・今日にいたるまでの核開発競争について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・移民人口や日系企業の進出先の傾向について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・高度情報通信の普及の仕方とその背景について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・飢餓の現状や国際社会の取り組みなどの世界の人口問題について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・ＳＤＧｓとも関連させながら、資源･エネルギー源の拡大と地球環境の両立について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・2020 年以降のコロナウィルスの世界的流行とグローバル化された社会における感染症の蔓延について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・多様な人々が共存する社会の発展について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

1	八冷戦と世界経済　1.集団防衛体制と核開発	①西側陣営が各地に集団防衛機構を構築した目的を理解する。 ②東側陣営がワルシャワ条約機構を築いた背景を理解し、世界におよぼした影響を考察する。 ③アメリカの核独占状況と、それに対するソ連の核兵器開発の成功がおよぼした影響を理解する。 ④核開発競争の過熱化について理解し、原子力発電開発の本格化との関係を考察する。	a:　・西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築について理解している。 ・核兵器の独占がソ連に破られたことによりアメリカ社会が受けた衝撃を理解している。 b:〃・ワルシャワ条約機構が結成された背景と、その影響について考察している。 ・核兵器開発競争の過熱化が国際連合の下で、原子力発電の開発の本格化につながったことを考察している。 c:〃・地図を活用し、西側陣営・東側陣営が構築した防衛体制とおもな紛争地点から、その意図を見出そうとしている。 ・グラフから米ソの核開発競争の過熱化について見出そうとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパー レポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題
2	八冷戦と世界経済　2.米ソ両大国と平和共存	①1950 年代のアメリカ社会の特色を理解し、「軍産複合体」について考察する。 ②世界的な人権擁護世論の高まりと、アメリカの人種差別への取り組みについて理解する。 ③ソ連の「雪どけ」と西側への影響を理解し、東ヨーロッパ世界の動揺や中ソ関係の悪化を考察する。 ④1960 年代の米ソ関係の冷え込みから「ベルリンの壁」構築について理解する。	a:　・1950 年代にアメリカの黒人差別への批判などが高まった背景を理解している。 ・東西冷戦を象徴する「ベルリンの壁」構築の背景を理解している。 b:　・1950 年代のアメリカ社会のあり方を軍産複合体から考察している。 ・「雪解け」や米ソ関係の冷えこみなど、冷戦下における外交関係の変化を考察している。 c:〃・スターリンの死や「スターリン批判」が東側陣営にあたえた影響から、東側陣営のあり方について追究しようとしている。 ・東西分裂期のドイツにおけるベルリンのあり方と「ベルリンの壁」が東西冷戦の象徴とされた意味を追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパー レポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	八冷戦と世界経済　3.西ヨーロッパの経済復興	①第二次世界大戦後の西ヨーロッパの地位の低下と、各国の戦後復興の状況を理解する。 ②西ヨーロッパが地域統合に取り組んだ背景と、EC とEFTAの形成について理解する。 ③経済統合のメリットとデメリットを理解し、西ヨーロッパの経済発展について考察する。 ④アメリカの主導権から脱却しようとする西ヨーロッパの動きを理解し、フランスの姿勢を考察する。	a:〃・第二次世界大戦による荒廃によって、西ヨーロッパの国際的地位が低下したことを理解している。 ・西ヨーロッパの地域統合における歩みを理解している。〃 b:〃・経済統合のメリットとデメリットを比較しながら、地域統合がヨーロッパ経済の発展につながったことを考察している。 ・アメリカの主導権から西ヨーロッパ諸国が脱却しようとした背景を考察している。 c: ・EC と EFTA を、それぞれ今日の EU と EFTA と比較することで、地域統合の歴史的意義を追究しようとしている。 ・アメリカと一定の距離をとろうとするフランスやヨーロッパの姿勢を今日までの歴史のなかでほかにも見出そうとしている。〃	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	八　冷戦と世界経済　4.第三世界の連携と試練	①国際社会で「第三世界」が形成された背景と、その活動について理解する。 ②3度におよぶインド＝パキスタン戦争を経て、バングラデシュが独立する過程を理解する。 ③インドと中国が、チベットの独立をめぐって対立し、軍事衝突にいたった経過について理解する。 ④アフリカ諸国がつぎつぎと独立を達成する過程を理解し、独立後に内戦やクーデタが発生した背景について考察する。 ⑤中東戦争の経過を知り、イスラーム主義の台頭とパレスチナ解放機構が国際社会で地位を認められていく過程を理解する。 ⑥第二次世界大戦後のラテンアメリカで、アメリカ合衆国の影響力が強化されていく経過を理解するとともに、キューバ革命がラテンアメリカ諸国の民族運動や革命運動にあたえた影響について考察する。〃	a:　・アジア・アフリカでの新興独立国の増加と「第三世界」の形成が、国際社会にあたえた影響を理解している。 ・カシミール地方やチベットをめぐる対立からおこった印パ戦争や中印国境戦争について、その経過と結果を理解している。 ・中東戦争の経過とパレスチナ解放機構の台頭を理解できる。〃 b:〃・アフリカ諸国が独立後も内戦やクーデタによって安定しなった背景について考察している。 ・カストロやゲバラを指導者とするキューバ革命がラテンアメリカ諸国にあたえた影響を考察している。 c:〃・中東戦争の過程のなかで形成されてきたイスラーム主義やムスリム同胞団が今日でもパレスチナ問題や中東情勢に関係をもっていることを見出そうとしている。 ・第二次世界大戦後に独立したアフリカの国々で、いまだに安定していない国家について追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	八冷戦と世界経済　5.55年体制の成立	″①サンフランシスコ平和条約締結後、労働運動や社会運動が抑えられ、逆コースとなっていく国家運営の特徴を理解する。 ②55 年体制が成立した背景を理解し、その後の政治の推移を考察する。 ③対米依存外交と自主外交の違いを理解し、日本の国際社会復帰への推移を考察する。 ④ベトナム戦争の背景・経緯を年表にまとめて、その後の世界各地にあたえた影響を考察する。 ⑤韓国・中国との国交正常化の経緯を理解したうえで、その後の双方の国とのあいだの課題を考察する。	a:・分裂していた社会党が統一するなかで、保守合同がおこなわれたことを理解し、二大政党の対立の実態をまとめている。 ・日本の国際連合加盟における課題であった、ソ連との国交樹立の経緯を理解している。 b:″・韓国・中国との国交正常化の過程を比較して、その共通点や相違点などを考察している。 ・日韓基本条約・日中共同声明の史料を読み、それぞれの内容を理解し、その後の課題について表現している。 c:　・日米相互協力及び安全保障条約（新安保条約）で新しく加わった内容を理解し、条約改定に反対した運動がおきた理由を追究しようとしている。 ・ベトナム戦争の背景・経緯を年表にまとめて表現し、その後の課題について追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	八冷戦と世界経済　6.日本の高度経済成長	①高度経済成長の契機となる特需景気を理解し、その後の経済成長がどのように展開するか考察する。 ②高度経済成長のメカニズムを整理し、産業構造の変化についても言及したうえで、その内容を理解する。 ③国際競争力を強化していくために、日本経済がおこなった改革を考察する。 ④消費の拡大や流通の変容について、社会の変貌とそれにともなう生活の変化を考察する。 ⑤高度経済成長のひずみについて、都市の過密化・地方の過疎化や公害の問題について理解する。	a:・高度経済成長の契機を理解し、欧米を上まわる経済成長が実現した要因についてまとめている。 ・高度経済成長のメカニズムを整理し、日本の産業構造の変化を理解したうえで、農業の近代化についてまとめている。 b:〃・高度経済成長を支えた貿易黒字について、その推移を理解し、国際競争力を強めることのできた要因を考察している。 ・社会の変貌について、日本の食生活の変化を品目別に比較して考察している。 c:・豊かな生活を求めて消費が拡大していくことについて、その要因を多角的に追究しようとしている。 ・高度経済成長のひずみについて、地方の過疎化、都市の過密化の課題を理解し、その課題への対応や解決について追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題
2	八　冷戦と世界経済　7.核戦争の恐怖から軍縮へ	①キューバ革命後のキューバの政策とアメリカの対応について理解し、カストロ政権がソ連に接近した理由を考察する。 ②1960～70 年代に東ヨーロッパとの緊張緩和をめざすフランスとドイツがとった外交政策について理解する。 ③西ドイツのブラント首相の掲げた「東方外交」の結果について考察する。 ④核兵器の開発と核軍縮の動きについて理解し、核保有国が核開発に歯止めをかけようとした理由と、実態としては核保有国が増えてしまった背景について考察する。〃	a:・ヨーロッパで進められた緊張緩和の動きを理解している。 ・核軍縮に対する米ソや国際社会の取り組みについて理解している。〃 b:・キューバ危機が核戦争の危機として緊張が高まったことを考察している。 ・西ドイツのブラントによる「東方外交」がどのような結果につながったのかを考察している。〃 c:・キューバ危機にいたるアメリカのキューバ政策への批判的な検討に取り組もうとしている。 ・今日の核軍縮と核保有国の実態について追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	八冷戦と世界経済　3.冷戦構造のゆらぎ	①中ソ対立が中国におよぼした影響を考察し、プロレタリア文化大革命の経過とそれが中国社会にあたえた影響について理解する。 ②チェコスロヴァキアで「プラハの春」と呼ばれる改革運動が発生した背景を考察し、ソ連のブレジネフ政権がこれを弾圧した経過と理由について理解する。 ③ベトナム戦争発生の背景とその経過について理解する。 ④ベトナム反戦運動や公民権運動がアメリカの政治におよぼした影響について考察する。 ⑤1970 年代の東西の緊張緩和の経過を理解し、その背景となった米ソの威信低下や、米中接近の理由について考察する。	a: ・中ソ対立のなかで、「大躍進」政策やプロレタリア文化大革命がおこり、当時の中国に大きな影響をあたえたことを理解している。 ・「プラハの春」の背景とその経過を理解している。 ・ベトナム戦争の要因とその経過について理解している。〃 b:〃・ベトナム反戦運動と公民権運動がアメリカの政治に与えた影響を考察している。 ・1970 年代の米ソの威信低下、米中接近が米ソ間の関係改善につながった点を考察している。 c: ・「プラハの春」から派生した「アラブの春」という言葉から、「プラハの春」のもつ歴史的意義を追究しようとしている。 ・ベトナム反戦運動と公民権運動が同時期に展開されることになった背景について追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	八冷戦と世界経済　９.世界経済の転換	①1970 年代の世界経済の転換の背景を理解する。 ②アメリカの金ドル本位制の停止が、ドル＝ショックと呼ばれるほど衝撃的であった理由を理解し、その後の世界経済にあたえた影響について考察する。 ③経済成長を是とする価値観が、何によって変化していったかを考察する。 ④石油危機が発生した背景と、それが世界経済にあたえた影響を理解し、人々の価値観がどのように転換したかを考察する。 ⑤石油危機が西側諸国での新自由主義の台頭につながった一方で、危機の影響を受けなかったソ連では、重工業中心の産業構造を転換する機会が失われたことを理解する。	a:　・1970 年代に世界経済の転換がおこった背景を理解している。 ・金ドル本位制の停止が世界経済にあたえた影響を理解している。 ・石油危機が発生した背景と世界経済にあたえた影響を理解している。 b:〃・1970 年代に経済成長を重視する価値観からの変容が進んだ要因を考察している。 ・石油危機後に新自由主義が西側諸国で目指された理由を考察している。 c:　・石油危機以降、原油価格の高騰はどのような背景をもっておこっているのかを見出そうとしている。 ・省エネルギー化（省エネ）やハイテクノロジー（ハイテク）化など今日にもつながる動きがうみ出されたことを見出そうとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパー レポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題
2	八冷戦と世界経済　１０.アジア諸地域の経済発展と市場開放	①開発独裁と呼ばれる政治体制の特徴について理解し、その利点や問題点について考察する。 ②1960～70 年代にかけてのアジアでは、強権的な政治体制のもと、外資を導入した輸出指向型工業化による経済発展が進んだことを理解する。 ③文化大革命後の中国で始まった、改革開放路線について理解する。 ④高度経済成長後も、日本が安定成長を維持できた理由について理解する。 ⑤経済摩擦を解消するため実施した政策とその影響について考察する。	a:　・1960～70 年代にかけて、アジアで外資導入によって経済開発が進んだことを理解する。 ・中国における改革開放路線について理解している。 ・高度経済成長後の日本の安定成長の背景を理解している。〃 b:〃・アジアにおける開発独裁について、利点と問題点について考察している。 ・プラザ合意とバブル経済の関係について考察している。〃 c:〃・開発独裁が今日にもあるとすれば、それはどのような形で存在しているのかを追究しようとしている。 ・1970～80 年代の日本の安定成長の背景にあった問題点を追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパー レポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	九グローバル化する世界　1冷戦の終結と国際情勢	①ソ連のアフガニスタン侵攻により再び東西の緊張が高まっていく経過を理解する。 ②チェルノブイリ原子力発電所の事故に象徴される、ソ連の沈滞の原因を理解する。 ③ゴルバチョフの「新思考外交」によって、冷戦が終結し、東欧革命が発生した経過を理解する。 ④イラン＝イスラーム革命で王制が打倒される経過を理解し、新体制がめざす国家のあり方について考察する。 ⑤イラン＝イスラーム革命につづいて発生したイラン＝イラク戦争、湾岸戦争の経過について理解し、それらの要因について考察する。	a:　・ソ連のアフガニスタン侵攻が米ソ関係の悪化と軍事費の増大につながったことを理解している。 ・1980 年代のソ連の沈滞の原因を理解している。 ・ゴルバチョフによる新思考外交を契機として冷戦が終結したことを理解している。〃 b:〃・写真から、イラン＝イスラーム革命の特徴を考察し、表現している。 ・イラン＝イラク戦争と湾岸戦争におけるアメリカの立場について考察している。 c:〃・東欧革命による各国での新体制を比較し、傾向を見出そうとしている。 ・チェルノブイリ原発事故の発生から、今日までの歩みをもとに事故の意味を追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題
3	九グローバル化する世界　2ソ連の崩壊と経済のグローバル化	①ゴルバチョフが主導したペレストロイカと呼ばれるソ連の社会主義体制の抜本的な改革の過程について理解するとともに、改革の実施にもかかわらずソ連が崩壊した理由について考察する。 ②ティトー死後のユーゴスラヴィアで内戦が発生し、ユーゴスラヴィア解体にいたる経過を理解するとともに、紛争の背景となっている複雑な宗教・民族分布や紛争への国際社会の対応について考察する。 ③冷戦後の世界で、経済のグローバル化が進んだことで生じた社会の変化を認識し、グローバル化の前提となった、地域統合や自由貿易圏の成立と WTO の設立について理解する。	a:　・ゴルバチョフによるソ連の社会主義体制の改革「ペレストロイカ」の取り組みを理解している。 ・地域統合や自由貿易圏の設立とともに、世界規模での貿易を促進するＷＴＯの役割を理解している。 b:〃・共産党一党支配と連邦制がどのようにソ連邦の崩壊に結びついたのかを考察している。 ・ユーゴスラヴィア紛争の背景にある宗教・民族分布の複雑さを考察している。 c:〃・ユーゴスラヴィア紛争における国際社会の関わり方について追究しようとしている。 ・経済を軸とした地域統合によって目指した未来像が、今日の世界経済とどのように重なっているのかを見出そうとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

3	九グローバル枷売る世界　3.開発途上国の民主化と独裁政権の動揺	①ラテンアメリカで民政移管が進んだ経緯を理解し、その背景を考察する。 ②東南アジア諸国での民主化の経緯や、ベトナム・インドの経済成長の背景を理解する。 ③冷戦終結前後の韓国と台湾で、民主化運動が活発化し政治体制の変化にいたる経過を理解する。また、独自の社会主義体制を維持する北朝鮮の状況について理解する。 ④文革終了後の中国で、市場経済化が進む一方、民主化運動の弾圧や少数民族への統制が国際的非難をまねいている状況を理解する。 ⑤南アフリカのアパルトヘイト政策が撤廃された経過を理解し、マンデラ大統領がめざした新しい国家のあり方について考察する。	a:　・東南アジア諸国やインドにおける民主化や経済政策について理解している。 ・冷戦終結前後の韓国と北朝鮮における政治情勢や台湾の民主化の推進について理解している。 ・国際的な非難を受けた文革後の中国における統治政策を理解している。 b:〃・ラテンアメリカ諸国で民政移管が進んだ背景を考察している。 ・南アフリカでアパルトヘイト政策が撤回され、マンデラ大統領が誕生した要因を考察し、表現している。〃 c:〃・マンデラ大統領が目指した南アフリカの姿を見出そうとしている。 ・市場経済の導入と民主化の要求に対する中国の対応について追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

3	九グローバル化する世界　4.地域紛争の激化	①1980 年代末からの、パレスチナ問題の解決に向けての動きとその結果について理解する。 ②アメリカの中東政策への反感から、同時多発テロ事件が発生し、対テロ戦争と呼ばれる新しい戦争が始まる経緯を理解し、その影響について考察する。 ③イラク戦争の経過と結果について理解する。 ④シリア内戦の経緯を理解し、内戦の結果生じた難民問題について考察する。	a:　・東南アジア諸国やインドにおける民主化や経済政策について理解している。 ・冷戦終結前後の韓国と北朝鮮における政治情勢や台湾の民主化の推進について理解している。 ・国際的な非難を受けた文革後の中国における統治政策を理解している。 b:〃・ラテンアメリカ諸国で民政移管が進んだ背景を考察している。 ・南アフリカでアパルトヘイト政策が撤回され、マンデラ大統領が誕生した要因を考察し、表現している。 c:〃・マンデラ大統領が目指した南アフリカの姿を見出そうとしている。 ・市場経済の導入と民主化の要求に対する中国の対応について追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパー レポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

3	九グローバル化する世界　5.国際社会のなかの日本	①長期安定政権が維持された 55 年体制が崩壊にいたった経緯について理解する。 ②バブル経済の崩壊以降、現在にいたる日本経済低迷の経緯について理解する。 ③憲法上の制約で不可能だった自衛隊の海外派遣を認めるようになった経緯について考察する。 ④戦後 50 年が転換点となる年であったことを理解する。 ⑤21 世紀に入ってからの日本の政治における変化を考察する。	a: ・55 年体制の崩壊の要因と、その結果として誕生した政権の特徴を理解している。 ・自衛隊の海外派遣が可能になった経緯を理解している。 ・1995 年が戦後 50 年の節目の年であり、転換点としての位置づけを理解している。〃 b:〃・株価と地価の推移のグラフと歴史的なできごとから、バブル崩壊から 2000 年代にいたる日本経済の低迷を考察している。 ・21 世紀に入っておこなわれた改革や政策による影響や懸念される点を考察している。 c:〃・自衛隊の海外派遣の拡大や自衛隊を取りまく政治情勢の変化について追究しようとしている。 ・日本の国際貢献のあり方の変化に、経済面などの日本の国際社会における影響力の変化を見出そうとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパー レポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

3	十現代の課題　1.現代世界の諸課題	①グローバル化がもたらす問題について、原因を考察し、どのように対応していけばよいかを理解する。 ②地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、その要因を理解し、どのように対応していけばよいかを考察する。 ③人権問題について、男女間の不平等、男女差別とは異なる性的差別の問題を理解し、どのように対応していけばよいかを考察する。 ④自然環境問題について、持続可能な開発という考え方を考察し、現代の世代の幸福と将来の世代の幸福をともに追求できる対応を考察する。 ⑤情報化社会の利便性と課題を理解し、情報化社会で安心・安全に生きていくための対応を考察する。	a: ・グローバル化のなかで福祉国家体制のなかから、新たに登場した新自由主義について理解している。 ・経済格差などの課題に対してどのように対応していけばよいかを理解している。 b: ・地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察している。 c: ・人間のもつ基本的人権を理解し、男女の平等、男女差別とは異なる性的差別の問題にも着目して、どのように対応していけばよいかを追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題
3	十現代の課題　2.現代日本の諸課題	①現代日本の課題である人口減少にどのように対応していけばよいかを考察する。 ②エネルギー問題について、どのように対応していけばよいかを考察する。 ③自然災害に対して、どのように対応していけばよいかを考察する。 ④日本の諸課題について国内でどのように対応するか、諸外国との関係でどのように対応していけるかを多面的・多角的に考察する。	a: ・エネルギー問題について、原子力発電の今後のあり方や自然エネルギーの活用について理解し、どのように対応していけばよいかを理解している。 ・人口減少の要因、今後の対応について理解している。〃 b: ・自然災害について、過去の歴史も調査して、今後どのように対応していけばよいかを多角的に考察している。 c:〃・経済発展にくわえ、観光立国としての取り組みについて追究し、これからの日本のあり方について取り組もうとしている。 ・近隣諸国との関係について、防衛強化の面・平和と安全の面といった多面的・多角的視点からよりよいあり方を追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパーレポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

3	現代的な諸課題の形成と展望	①歴史的な見方や考え方を生かして、現代的な諸課題を考察する方法を理解する。 ②現代における課題の解決や、将来の構想のうえで、歴史的な見方・考え方を活用することが有効であることを理解する。 ③現代的な諸課題に対して、歴史的な問いを立て、これまでの学習をもとに考察し、表現できるようにする。	a:〃・諸資料から問いを立てることができることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。 ・身近な課題を考察するうえで歴史的な見方や考え方を活用することが、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解している。 b:〃・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連づけたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について考察、構想し、表現している。 ・資料に対し、その時代や資料を記録したものの立場などを文脈に応じて適切に分析し、資料の意義を判断している。 c:〃・みずから問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとしている。 ・分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・リアクションペーパー レポート) ・パフォーマンス課題	・リアクションペーパー ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度